



ら高い評価を得ることができた。今後は、観光交流都市としての特色を前面に出して本市の魅力を伝えていくことが重要だと考える。

稲吉郭哲 (自由クラブ)

教員の負担軽減について

問 愛知県の「教員の多忙化解消プロジェクトチーム」の提言への対応は。

答 以前から教員の多忙化には問題意識を持ち、在校時間の把握や指導等をしてきた。各学校でも独自

に対策に取り組んできた。

今後、部活動のあり方も検討し、次年度には多忙化解消プランを策定する考えである。また、地域と協働で学校運営できる体制の構築に向けて取り組んでいく。

市民病院での土曜日診療について

問 現役世代の方をはじめとした市民の利便性を考え、市民病院での土曜日診療の可能性について伺う。

答 様々な調整が必要だが、例えば診療科の限定といった条件付きで実現の可能性があると考える。

伊藤勝美 (公明党市議員)

25年長期保存食の導入について

問 25年長期保存食を導入する考えは。

答 25年長期保存食は1年あたりの金額が安価である上、消費期限の到来に伴う入れ替えの手間が少ないため、メリットがあると考ええる。計画的な備蓄を進



めていく中で、用途や目的等に合わせて導入を検討していく。

外国人や聴覚障がい者とのコミュニケーションを

問 スマートフォン用の多言語音声翻訳アプリ及び聴覚障がい者向け支援アプリの導入の考えは。

答 多言語音声翻訳アプリは通常時・非常時ともに活用が期待できる。聴覚障がい者向け支援アプリに関しても様々なアプリが開発されており、両アプリの導入について検討していく。

大竹利信 (公明党市議員)

避難所運営について

問 多くの避難者を収容する避難所との連絡体制の充実のため、あらかじめ電話線等を敷設する考えは。

答 災害が起きた際に各避難所に電話線を敷設することは、物理的・時間的に困難なため、特設公衆電話の事前敷設について事業者と協議を進めている。

B型肝炎ワクチン定期接種の救済措置について

問 今年度から開始した定期接種は、子どもの生まれ月によってはスケジュール

ールが厳しいため、1歳を過ぎても無料で接種できるように助成する考えは。

答 接種期限内に接種することが大前提だが、平成28年4月から7月に生まれた子どもには何らかの経過措置を講ずることを検討している。

鈴木貴晶 (自由クラブ)

小学校の給食にコーヒー牛乳の素を

問 今年度は小学校の給食にコーヒー牛乳の素が提供されていないが、牛乳の飲み残しを防ぐ観点から提供してはどうか。

答 小学生は中学生と違い、栄養摂取基準のエネルギーを満たしているため、コーヒー牛乳の素を提供しなかったが、他の食材とのバランスを考えながら提供を考えていきたい。

ふるさと納税の返礼品拡充について

問 事業者にふるさと納税の返礼品登録を営業し